

## 【6月15日（月）放送朝礼】

みなさん、おはようございます。学校が完全に再開された6月も、早いもので半分が過ぎました。少しずつ学校生活に慣れましたか？

先生が、新聞や雑誌の記事の中で気になったものがありました。

約3か月という長い臨時休業で、特に中学生以上の学生はインターネットを通じてオンライン授業など、自宅に居ながら勉強をする時間が多くなりました。自分に勉強する気持ちがあれば、学校へ行かなくても勉強に取り組み、学力が向上できると実感した人もたくさんいたようです。それ自体はとても立派なことですね。

そして、学校が再開された時に疑問に感じたことが、「別に学校に行かなくても、勉強はできるのに。なぜ感染リスクを冒してまで、学校へ行かなければならないの？」ということでした。

みなさんは、このことについてどう思いますか？

なぜ、みなさんは毎日学校に来ているのでしょうか？

お家の人「学校へ行きなさい」と言うから？

校長先生は、(義務教育の)学校は勉強だけを学ぶ場ではないと思っています。勉強だけを学ぶのならば、塾やオンライン授業など、その気になればいろいろな場があるでしょう。

学校は、たくさんの人たちが生活をしています。そのたくさんの人たちが、「安心して、安全に、楽しく」過ごすためには、当然お家で過ごすのとはちがって、「ルール」や「我慢をしなければならないこと」がたくさんあります。その「ルール」や「我慢」を学ぶ場でもあると思います。一人一人が少しずつ我慢をして、みんなが気持ちよく生活できるようにすること。これは、集団の中でしか学ぶことができません。

また、友達と一緒に遊んだり、けんかをしたり、声をかけ合ったり、一つのことにみんなが協力して取り組んだりという「人との関り」を学ぶ場でもあります。一緒に遊ぶ時に「入れて」と声をかけたり、けんかの原因がきちんと分かったら「ごめんなさい」と謝ったり、優しくしてもらったときに「ありがとう」という感謝の気持ちを口にしたり……。一見当たり前のことのように感じますが、家で家族の中だけで過ごしては、それを学んだり、使ったりする機会がありませんね。

それ以外にも、学校で学ぶことはたくさんあると思います。みなさんも考えてみてください。そして、学校で学べることを思いついたら、ぜひ担任の先生に報告をしてくださいね。

学校は、楽しいことばかりではありません。でも、悲しいことや苦しい出来事からも、人間は成長させてもらえます。そんな成長がたくさんできる草平小学校を、みんなで協力して作っていきましょう。

今週から外遊びやトイレそうじも始まります。新型コロナウイルスの感染予防をしながらの学校生活も一歩ずつ前に進めます。「手洗いをこまめにする」「人との距離を保つ」「必要に応じたマスクの着用」等をみんなで意識しながら、落ち着いて過ごしましょう！